

学校だより
「まんだ」
No.11

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

実りの秋

10月も下旬になり、やっと涼しくなりました。あちらこちらの田んぼでは稲刈りが行われ、実りの秋を感じます。

万田小でも、10月14日にオリーブの実を収穫しました。今年は、昨年よりもたくさん実をつけており、全校児童で1時間かけて収穫しました。地域の方も応援に来てください、高いところの実は、枝を切って子供たちが取りやすいようにしてくださいました。

イネやオリーブなどの植物は、太陽の光から自らエネルギーを作り出すのに、われわれ人間など動物は、エネルギーを作ることなく消費するだけです。そう思ったら、われわれ人間って、いったい何を実らせているのだろうと考えてしまいます。勉強したことが形になっているのか?働いたことが誰かの役に立っているのか?日々の営みで自ら成長しているのか?

子供たちが楽しみながら頑張って収穫してくれたオリーブの実は、この後オリーブオイルになり、料理に使われ、どこかの食卓に上っていることでしょう。地域の方々への感謝、自然の恵み、子供たちの頑張りが、オリーブオイルという「実」になっていることを、子供たちにも教えたいと思います。



歩き方を見ると心がわかる!

私には特技があります。人が歩く姿を見ると、その人の心のおおよそが分かるんです。自転車の乗り方一つでもわかります。これは、長く学校の先生をしていると誰でも身に付くものなので、私だけの特技ではありませんが。

先日、朝から一人でとぼとぼ歩いてくる女の子がいます。気になって見ていると、今にも泣きそうな顔をしています。「ははあん。朝からお母さんに怒られたんだな。」とすると、寝坊かな?宿題をしていないのかな?朝からプリントを出したのかな?そんな想像を巡らせて、「何か嫌なことがあった?」と尋ねてみました。すると「ママと喧嘩した。」と言います。??「ママに怒られたの?それとも喧嘩したの?」と聞き返してみたところ、やっぱり「喧嘩した。」と言います。怒られたというのと喧嘩したというのでは、微妙に違います。偏見かもしれません、男の子では、なかなかママと喧嘩にはなりません。そこにその女の子の強さを感じ、「じゃあ、〇〇ちゃんもママに言い返したんだね。」と言いました。がんばって学校に向かうその子の姿を見送りながら、「今日学校で楽しいことがあればいいけどなあ。」と思いました。

集団宿泊学習

いいなあ。私も行ったかったなあ。10月16日・17日に行われた5年生の「集団宿泊学習」は楽しいことだらけです。ニジマスつかみ、ナイトゲーム、野外炊飯・・・。

※数十年前は、「集団宿泊訓練」と言って、訓練ですから、つらいこともいっぱいあった。

ただ、私は「訓練」よりも「学習」の方がいいと思っています。それは、いやいやさせられるのではなく、自ら楽し



みながら活動する中で、

「自己責任」を学んでいくからです。御飯がおいしく炊けてもまずく炊けてもそれは自己責任。太ったニジマスがうまく捕まえられなくても、それも自己責任。自分にとっての不都合を自己責任として受け入れることが学びになるのだと思います。

教頭先生からは、「〇〇君も〇〇さんも、みんな楽しそうでした。みんなお利口でした。」と報告がありました。夜もみんな疲れて早く寝てしまったとのこと。これは、昼に思いっきり活動させた先生の作戦勝ちです。

